

### Ⅲ 学童期の子どもをもつ保護者を対象にしたプログラム

## Ⅲ-2 子どもの規範意識ってどうやって育てるの？

対象：学童期の子どもをもつ保護者  
時間：70分程度（短縮版60分程度）

ねらい	子どもの規範意識を育てるために、親として日常の関わりの中で大切にしたいポイントについて考える。		
実施のポイント (評価など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもの規範意識を育てるために今まで行ってきた自分の関わり方を振り返ることができる。</li> <li>○ 子どもと約束やルールをつくるときに心がけるべきポイントや、それを尊重し順守させていくためのポイントについて考えることができる。</li> </ul>		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会場設営（1グループ6名以内の机といす）</li> <li>○ 名簿によるグループ分け（短縮版のみ）</li> <li>○ 資料           ○ 筆記用具</li> </ul>		
時間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
<b>導入</b> 15分 (短縮版：10分)	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク ・グループ分け ・自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のねらいや約束事項を確認する。</li> <li>・ゲームを通して場を和らげるとともに1グループ6名以内のグループをつくる。(短縮版はカットし、名簿によるグループ分けで対応する。)</li> <li>・自己紹介では、「子育てをしていて最近おもしろかったこと」について話すことにし、互いに親近感がもてるようにする。</li> </ul>	
<b>展開</b> 15分	<b>ワーク1</b> ・エピソードを読む。(全体) ・ロールプレイをする。(グループ) ・感想を交流する。(グループ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ロールプレイを通して、自分の関わり方を振り返るとともに、親として留意すべきポイントについて考えることをねらいとする。</li> <li>・親役2人と息子役1人の3人組でロールプレイを行い、グループ内で互いに見合えるようにする。その際、次の活動への布石として担当する役に関わらず息子の気持ちを踏まえた上で、自分なら親としてどのような関わり方をするかを考えながら活動するよう伝える。</li> <li>・感想交流時には、「子どもとどのように向き合うべきか」をテーマに活動を振り返り、話す内容や態度等、親として留意すべきポイントを確認することができるようにする。</li> </ul>	
10分	<b>ワーク2</b> ・エピソードと似たような経験について紹介し合う。(グループ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎様々な事例にふれながら、規範意識を育てるための親としての関わり方について自分の考え方を再認識したり、新たな気づきが得られたりすることをねらいとする。</li> <li>・子どものエピソードでも、参加者自身の子どもの頃のエピソードでもよいことを伝える。</li> <li>・必要に応じて質疑応答や感想を交流する時間を設ける。</li> </ul>	
20分	<b>ワーク3</b> ・ワークシートに書き込む。(個人) ・紹介し合う。(グループ) ・まとめをする。(全体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎約束やルールを尊重し、順守することができる子どもを育てるための取組を紹介し合うことを通して、今後の自身の取組に向けた一助となることをねらいとする。</li> <li>・まとめの段階では、グループの代表に発表してもらい全体で情報交換することができるようにする。また、ファシリテーターは、最後に資料1や別紙資料を参照にしてまとめをする。</li> </ul>	参考資料
<b>まとめ</b> 10分 (短縮版：5分)	<b>ふりかえり</b> ・ワークシートに書き込む。(個人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各家庭の実態を踏まえながら、子どもの規範意識の育成をめざした具体的な取組を考えることで実践しようとする意欲につなげる。</li> <li>・時間があれば資料2を参照し、その後、書き込むようにする。</li> <li>・書き込み後、時間があればグループ内で紹介し合う。ファシリテーターは、発表内容に関連したコメントをし、まとめとする。</li> </ul>	